



温故知新

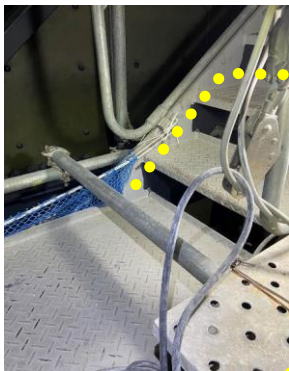


危険な足場を発見したら職長に報告しましょう！

現場内では移動するときや作業する際、足場を使用する場面が多々あります。使っている足場が本当に基準を満たしているのか、危険ではないのか、を足場を使用する前に確認する癖をつけましょう！

足場の安全基準

- ①床材は、支点間隔及び作業時の荷重に応じて安全であること。
 - ②作業床の幅は40cm以上、床材間の隙間は3cm以下とする。床材と建地の隙間は12cm未満とする。
 - ③作業床の端部等には手すりや中棧等を設けなければならない。(手すりは床から高さ85cm以上の位置=だいたい腰より高いあたり)
- ⇒作業前には ①足場の耐荷重 ②隙間の広さ ③手すりの有無 を確認する必要があります。



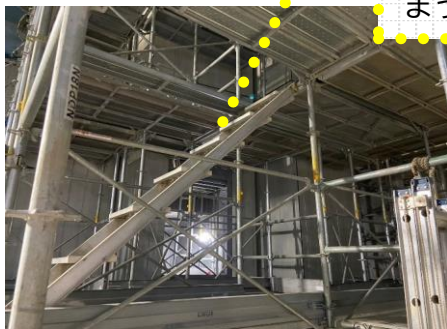
階段前に謎の棒あり…

よそ見してたり大きな荷物を持っていたら転倒してしまう可能性大！

現場にはこんな足場があることも…

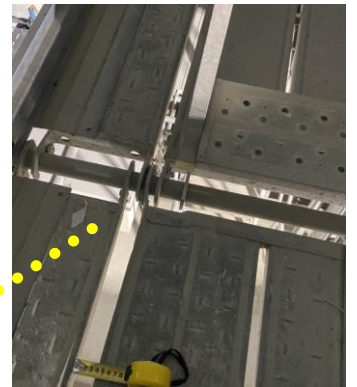
階段に手すり無し！

特に上部は横につかまるところもないのでふらついたら横に転落してしまうかも…



足場の隙間が広い気が…

足場の隙間が広いとその部分につまづいたり、小さい材料や道具を下に落としてしまう危険性も！！



【今号の主な内容】

- P① 足場上での作業に注意
- P② 火の不始末に用心を
- P③ 新入社員入社挨拶
- P④ ことわざ・次回案内



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL : 03-3572-1866

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

- 火の無いところに煙は立たぬ ●
- ・火報等は有効に作動しますか



「火の無いところに煙は立たぬ」とは、噂の立つところには、何らかの原因があるものだという意味で、「煙あれば火あり」、「蒔かぬ種は生えぬ」などと同じ意味で使われることわざです。「炎は煙から遠く離れてはいない」と、同じようなことわざがヨーロッパにもあります。

煙とは、物体が燃える際に出る不完全燃焼物や液体微粒子などが浮遊している状態をいいますから、ことわざのように、煙の元は火です。したがって、煙を立たせぬためには火を出さないようにしなければなりません。

しかし、「根はなくとも花は咲く」というように、火災の中でも一部の化学薬品や電気のように煙を出さずに燃え出すものもあります。注意しましょう。

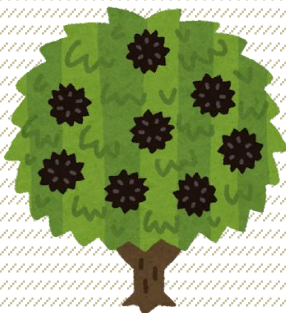
なお、多くの職場や家庭では、火災を早期に知らせる火災報知機等が設置されていますが、有効に作動するように定期的に点検・整備がされているでしょうか。「誤作動するのでスイッチが切っただけなど、とんでもないことです。

【 職長会のお知らせ 】

★日時 2023年11月20日(月)

★時間 18時00分～

★会場 銀座ユニーク7丁目 N302



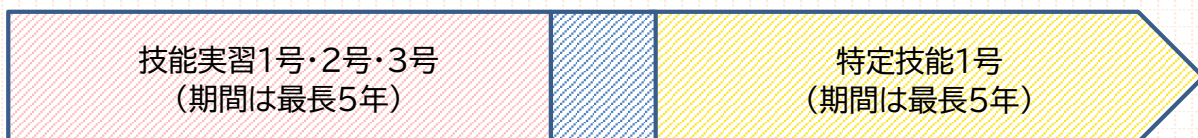
新入社員紹介

10月10日より新たに1名ベトナム人が特定活動の資格で入社しました。
今後現場で見かけた際はご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます！



私の名前はレーザーヒエウと申します。
ベトナム人です。今年で29歳です。
鳶職から転職しました。
保温に関することはやったことがあります。
お世話になります。

ちなみに「特定活動」とは・・・



特定活動

= 技能実習から特定技能への移行期間
⇒ 特定活動は現場では特定技能と同じ扱いになります。
なので実習生に比べ現場へ入場しやすくなっています。



オリンピック時の超繁忙期が収束して以降、現場に入場できる「特定活動」の作業員は技能実習生から特定技能への移行手続き中の人のみという現場がほとんどです。

お知らせ

年間行事予定表でお知らせしていた忘年会の日程が変更になりました。

(変更前)12月16日(土)

(変更後)12月15日(金)

詳細は決まり次第ご連絡させていただきます。
みなさんのご参加、心よりお待ちしております。

時事ネタから学ぶ

火の不始末による火災に用心を！

ピックアップニュース

多久市 6年前から続いていたボタ山火災
市が終息を宣言

佐賀県多久市の石炭採掘に伴ってできたボタ山で6年前に発生した火災がくすぶり続けていた問題で、2年ほど煙や異臭が確認されなくなったことから市は火災の終息を宣言。

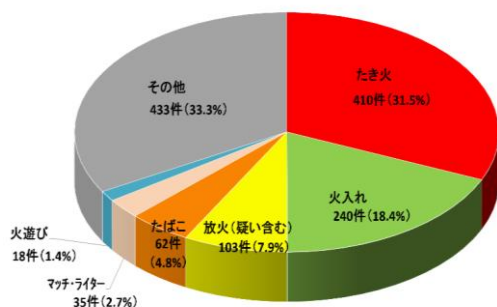
2017年5月、土地の所有者が伐採した木を燃やそうとしたところボタ山に燃え移ったことが火災の発生原因とされている。

3年間の消火活動とその後水質や大気の調査が幾度となく行われ、2023年10月16日に煙や異臭、大気や水質にも異常はみられないと判断が下され、火災の終息が宣言された。

2023年10月までに消火や監視のために出動した回数は738回にものぼった。

今後は通常のボタ山と同様の管理体制に移行するとのこと。

こちらのニュースは「ボタ山」という特別な環境で起こった火災だったため終息までに6年もの年月がかかってしまいましたが、一般的な山火事は世界各国で頻繁に起こっています。



また日本において林野火災の多くが人間の不注意によるもので、落雷などの自然現象は稀だとされています。

冬になり空気中が乾燥してくると火災が発生したときに燃え広がります。自分が火災の原因になってしまわないよう、火の始末は徹底して行いましょう！

火災予防のポイント

自分でできる身近な火災防止対策

- ①家やストーブの前に燃えやすいものを置かない
- ②寝たばこやたばこの投げ捨ては厳禁！
- ③揚げ物をしているときは離れない
- ④風の強い日はたき火はしない
- ⑤マッチやライターを使って遊ばない
- ⑥電気製品を正しく使用し、タコ足配線はしない

現場でも火災は発生する！！

平成22年から令和元年までで東京消防庁管轄内の工事現場での火災発生数は1,031件もあります！

現場で火災が起こった際も落ち着いて行動できるようどこからなら速やかに避難できるのかを常に把握しておきましょう！